

平成 22 年度第 2 回 環境振動制御技術小委員会議事録（案）

A. 日時 2010 年 6 月 22 日（火） 17:00～19:50

B. 場所 建築会館 会議室

C. 出席者（敬称略）

鈴木主査、他 8 名

D. 提出資料

No.2-0 第 1 回 環境振動制御技術小委員会議事録（案）

No.2-1 平成 22 年度第 2 回環境振動制御技術小委員会議事次第

No.2-2 委員の公募について

No.2-3 濱本先生の環境振動シンポジウムテーマ主旨説明文

No.2-4 詳細な FEM 解析と簡易な FEM 解析の条件設定

E. 審議事項

1. 前回議事録：承認

2. 委員の公募の件

- ・ 本小委員会の公募を 8 月号に掲載予定。最大で 2 名。
- ・ 公募があれば 9/21 の運営委員会で承認をお願いする。

3. 環境振動シンポジウム企画検討 WG からの課題について

資料 No.2-3 の主旨について説明があり、本小委員会からのテーマについて意見交換を行った。

- ・ ワイヤレスセンサーのメーカーに事例などを紹介してもらってはどうか。
- ・ 自動車騒音では、GIS 上に面的評価が行われているので、これをシステム開発会社などに紹介してもらってはどうか。
- ・ 道路環境振動予測関連全般の話をしてもいいのでは。
- ・ 建物の振動予測や評価はそれぞれ個別ということになるのではないか。
- ・ 振動はレベルの大きさだけでなく、周波数情報も重要であるため、これらも表示できるようにする必要があるのでは。
- ・ GPS を使った地震観測技術なども参考になるのでは。

4. ブラインド解析について

資料 No.2-4 の予測パラメータについて、意見交換を行った。その結果、準備段階として解析条件を統一したシンプルなモデルを複数人が解き、結果に差がないか確認する。

解析条件は以下のとおり。

- ・ 予測範囲：10F ⑤～⑦ D～E
- ・ ヤング率、密度、ポアソン比：後日、決定。
- ・ デッキスラブ：RC 一定厚（ $t=150\text{mm}$ ）
- ・ 梁：スラブと同位置
- ・ 大梁：剛接

- ・ 小梁：剛接
 - ・ 梁のねじれ剛性：考慮（各人アプリケーションの設定を要確認）
 - ・ 床荷重：無負荷
 - ・ 間仕切り壁：無視（構造壁も無視）
 - ・ 外壁：無視
 - ・ 減衰：全モード一定 1%
 - ・ 柱：無視（床梁を柱中心でピン支持）
 - ・ 柱梁接合部：剛域無視
 - ・ 要素分割：⑤～⑦が 16 分割、D～E が 8 分割
 - ・ せん断変形：考慮（各人アプリケーションの設定を要確認）
 - ・ アクセラランスを求める：# 1 加振－# 1 応答、単位 (m/s²)/N
- その他、不明な点は主査に問い合わせる。（回答は全員にまわす）

ブラインド解析を行うメンバーは、後日、主査から確認を行う。ブラインド解析を行わないメンバーは、大会論文など文献から解析方法などを調べる。文献調査の方針については、幹事が案を考える。

F. 次回の予定：8月24日（火）17:00～19:00

以上